

ニガ手教科を得意教科するには

苦手教科をすぐには得意教科にすることはできません。でも努力すれば何ヶ月か後には、それを得意教科にすることはできます。

何らかの小さなきっかけや、ささいな理由で、ある教科や単元が嫌に感じることはしばしばあるものです。なかなか理解できなかつたり、すごく時間をかけたのに成果が十分に出なかつたとか、そうしたきっかけで、嫌いな教科・ニガ手な単元というものの芽が作られます。

そして嫌だから、そこから逃げる、あまり勉強しない、あきらめる、だからますます理解できない、分からないからますます嫌いになる、この繰り返しと悪循環によって、きれいな苦手教科が成長し作られていきます。

ではどうすれば苦手教科を得意教科にできるのでしょうか。

それにはこの悪循環を断ち切ること、つまり**その苦手教科を特に長い時間かけて勉強すること**です。

やまぎわ塾の授業の現場でも、教師と生徒のやりとりの中で、次のようなものがしばしばあります。

(生徒)「私、(数学の)図形は嫌いです。」

(先生)「ではもっと図形の問題をいっぱいやらないと行いけないね。」

(生徒)「嫌いだからやりたくないのに、先生は意地悪です。ほかの単元で頑張るからお願い。」

(先生)「やらないから、わからないから嫌いに思っているだけなのですよ。やれば必ず分かるようになるし、好きになれるし、だからもっともっと図形問題をやりましょうね。先生がわかりやすく教えて行きますから大丈夫ですよ。」

あまり勉強しない なかなか理解できない すぐにいやになってしまうを繰り返すために、**苦手教科を得意にすることができないのですから、その逆のことをすればいいのです。**

苦手教科を長い時間をかけてたくさん勉強するよう努力するのです。

これを数ヶ月でも続ければ、必ず分かってきて、だんだんと好きになってきます。そしてさらに続ければもっと好きになって得意にさえなってくるでしょう。

やまぎわ塾では、こんな事例が常に数多くあります。英語は好きだけど単語を覚えるのがどうしても嫌い、と言った生徒に、徹底的に英単語の暗記とテストを繰り返して、ついに単語好きにさせてしまった、という例もありました。

ただ注意すべきことは、**苦手教科や単元のみ**の学習では、特に最初は効率も悪いでしょうし、勉強そのものが苦しい、と感じ、持続できないことにもつながります。

ですから**好きな教科や得意分野の学習をとりまぜながら、あせらずに楽しく学習を進めていける方策が大切**ですね。